

専攻主科目名

細胞生物学・解剖学

◆問い合わせ連絡先 担当：解剖学講座 主任教授 竹田 扇

E-mail takeda.sen.xm@teikyo-u.ac.jp

TEL 03-3964-3581 (内線:46241)

HP (研究室) 担当者の研究内容は下記URLで確認可

<https://researchmap.jp/drmedsta>

研究室は7階716、教授室は6階608

講座の研究テーマ

1. 細胞生物学：繊毛の構造と機能に関する研究 (竹田)

繊毛はからだのほとんどの存在する細胞小器官であり、多くの疾患とも関係しています。またからだの左右差決定 (ボディプラン) の主要因子です。

2. 神経科学：神経回路の形成機構に関する研究 (宮下)

海馬の抑制性神経回路がどのようにして形成されるかを調べています。

3. 神経細胞生物学：下垂体毛細血管の構造と機能に関する研究 (中倉)

下垂体毛細血管を構成する内皮細胞の特徴を細胞生物学的に調べています。

4. 腫瘍学：質量分析と機械学習を用いたがん診断法の開発 (竹田)

即時即場でがんの診断が可能な診断装置を開発しました。これを用いて新しい腫瘍診断法をつくります。

講座のスタッフ

主任教授	竹田 扇	細胞生物学、解剖学、腫瘍学
講師	田中 秀幸	免疫組織化学、免疫電顕法
講師	宮下 俊雄	神経科学、神経発生学
講師	有澤 謙二郎	肉眼解剖学、臨床解剖学
講師	中倉 敬	細胞生物学、内分泌学、神経科学
助教	猫沖 陽子	細胞生物学、神経科学
助教	井上 卓俊	細胞生物学、歯科麻酔学

テーマの選択と研究手法

- ・ 基本的に繊毛に関する研究が第1のテーマとなります。
- ・ 他のテーマに関しては本人の希望に応じて調整可能です。
- ・ 手技は現代生命科学の基本である細胞生物学、分子生物学のほか電子顕微鏡法など解剖学講座独自の手技も学べます。

メッセージ

2軸思考：生命を分子レベルで捉えるという方法論（要素還元主義）が生命科学の主軸となっていますが、その中で「かたち」を見ること（全体論）は今なおその輝きを失っていません。解剖学はその視座を大切にしています。

ダイナミズム：解剖学は一見古い領域に見えるかもしれませんが、からだの全ての部分を研究対象とし、分子から個体に至る多様でダイナミックな方法論をもつ常に成長している分野です。

多様性：本学解剖学講座は基礎生命科学から臨床診断に至る幅広い研究領域をカバーしています。また医学科で解剖学実習を担当していることからご遺体を用いた外科的な研究も可能です。

自由度：繊毛はからだのほとんど全ての細胞にあることから様々な臨床科とも関係をもつ研究ができる自由度があります。